

平成 30 年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
1 教育課程 学習指導	<p>(1)学力向上進学重点校エントリー校にふさわしい教育課程を編成・実施する。</p> <p>(2)生徒と教員で質の高い授業を創造することで、自学自習の態度を育成する。</p> <p>(3)アクティブ・ラーニングの視点からの不断の授業改善を進める。</p> <p>(4)文理を問わず生徒の知的探究心を刺激する取組を推進して将来自然科学分野で活躍できる人材育成を図る。</p> <p>(5)国際的視野の涵養と豊かな語学力・コミュニケーション能力の育成を図り、グローバル人材の育成を図る。</p>	<p>①学力向上進学重点校につながる組織的な授業改善に向けた取組の充実を図る。</p> <p>②多様な学びの機会を組織的・計画的に実施し、基礎・基本の定着と発展・応用の伸長を図る。</p> <p>③主体的・対話的で深い学びの視点から、授業改善を図る。</p> <p>④科学との関わりを意識した課題研究活動の充実を図り SSH 申請に向けた教育課程の研究開発を進める。</p> <p>⑤生徒が異文化や英語に触れる機会の充実を図り、積極的に英語でコミュニケーションする姿勢や態度を育成するとともに国際性を培う。</p>	<p>①生徒による授業評価の分析結果から日課の変更を検証する。</p> <p>②カリキュラム・マネジメントに係る職員全体研修の実施と共に、年間を通した教科ごとの情報共有・授業改善の充実に取り組む。</p> <p>③主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた授業実践による「思考力・判断力・表現力」および言語活動充実のために4技能の研究を進める。授業評価やアンケート等を組織として分析し、生徒と教員によるより良い授業づくりを進める。</p> <p>④県立高校改革(I期)指定事業「理数教育推進校」として着実な推進を図るとともに、SSH 指定に向けて文部科学省に申請するなど手続きを確実に進める。</p> <p>⑤国際交流、GTEC、英検等の資格試験やディベート、スピーチコンテストなどへの参加により、異文化理解を進め、英語による実践的運用能力の向上を図る。</p>	<p>①日課変更は肯定的であったか。</p> <p>②研修、定期試験の共通化(70%以上)などカリキュラム・マネジメントの取組が進んだか。各教科で目標及び具体的手立てを確立し、授業研究に臨めたか。</p> <p>③「思考力・判断力・表現力」を育成する言語活動を取り入れられたか。生徒による授業評価の項目4「かなり当てはまる」の回答率50%以上に向け取組みができたか。</p> <p>④課題研究により探究活動を進められたか。課題探究を核とした科学的リテラシーを育成するため、「科学の甲子園」やかながわ国際サイエンスフォーラム等への参加数が増えたか。</p> <p>⑤国際交流を進められたか。資格試験やコンテスト等への参加数が増えたか。模試・GTEC等を分析し活用できたか。</p>
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	<p>(1)豊かな人間性や協調性を涵養し、自主・自律の態度を育成する。</p> <p>(2)「カウンセリングマインド」を指導の基軸として生徒一人ひとりの自律的な態度の育成を図る。</p> <p>(3)生徒の自主性や創造性を尊重し、学校行事や部活動の充実を図る。</p> <p>(4)生徒の健康づくり、体力づくりを励行し、保健衛生や安全管理の徹底を図る。</p>	<p>①生徒一人ひとりが自他を敬愛し、礼儀を重んじ、自由と責任をわきまえた行動をとれる姿勢や態度を育成する。</p> <p>②生徒一人ひとりに寄り添う指導から、生徒の自律的な生活態度の育成を図る。</p> <p>③部活動、行事や生徒会活動など生徒の活動の場を拡大する。</p> <p>④生徒会や委員会など生徒自らの取組みを教職員全員が支援し、安全安心な学校環境の整備を図る。</p>	<p>①マナーアップ運動、登下校指導等を実施し、社会性を身につけさせる。</p> <p>②行事等を活用して生徒自らが考えて行動できる指導・支援をとおして自主・自律的な生活態度や姿勢を身につけさせる。</p> <p>③部活動・行事等と学習を両立し、自他を尊重し、豊かな経験が得ることができるよう指導・支援する。</p> <p>④心身ともに健康的な学校生活が実現できるよう学校内外の教育相談等の機能を活用・連携をとおして生徒の支援を図る。</p>	<p>①生徒が責任感と社会性のある行動をとり、地域からの苦情等が減少したか。</p> <p>②全教職員が共同歩調で組織的に生徒指導にあたることができたか。</p> <p>③学校行事等における生徒の満足度が80%以上であったか。トラブルなく円滑な部活動運営ができたか。</p> <p>④教育相談等について情報を提供するとともに、支援を必要とする生徒に対してケース会議を開催するなど迅速に対応できたか。</p>

3	進路指導・支援	<p>(1)学びに向かう力や人間力の育成などキャリア能力を高める進路指導・支援の充実を図る。</p> <p>(2)生徒の現役での進路希望の達成を図る。</p> <p>(3)進路指導マネジメントシステムを整備し個々の進路実現を支援する。</p> <p>(4)キャリア教育実践プログラムの着実な推進と内容の充実を図る。</p>	<p>①すべての生徒が科学に対する興味・関心を高め、科学的思考力の向上を図る。</p> <p>②自律的学習習慣の確立に向けた進路指導・支援を行う。</p> <p>③校内学力検討会等の実施と定期的な学力分析会の計画的・組織的な実施の強化を図る。</p> <p>④「総合的な学習の時間」をキャリア教育及び生徒の主体的な学びを引き出す探究活動の核と位置づけ、外部連携による特別活動や校外学習の機会を設定する。</p>	<p>①総合的な学習の時間における課題研究に科学的なテーマを取り上げること推進する。</p> <p>②長期休業中の講習を受講しやすい環境、自宅学習時間を確保する環境を整える。</p> <p>③模擬試験等のデータやデータ分析ソフトを活用し、データに基づく組織的な進路指導を展開する。</p> <p>④学年の進行に応じた学習内容の整備し実践する。</p>	<p>①理系進学希望者を引き上げられたか。</p> <p>②長期休業中の講習受講者が前年度比で10%以上増えたか。自宅学習時間が増加したか。</p> <p>③情報提供や面談指導などにより、生徒の目標を高く持たせ、第一希望の進路実現を支援できたか。また模試分析会等を行い、データ分析を学年・教科で共有し、指導に活かされたか。</p> <p>④生徒一人ひとりの進路意識を高める具体的な取組みができたか。また SSH 指定に向け、探究活動の環境整備及び内容の充実を図られたか。</p>
4	地域等との協働	<p>(1)「多摩高へ行こうの日」等の工夫・改善をとおして教育活動の情報発信の充実を図る。</p> <p>(2)ホームページの一層の充実を図る。</p> <p>(3)教育活動のネットワークを広げ学習機会の拡大と教職員の指導力向上に資する。</p>	<p>①開かれた学校づくりと多摩高の魅力を情報発信する。</p> <p>②ホームページの更新に努め、魅力的なホームページの作成に取り組む。</p> <p>③教育資源や人材などネットワークの拡大に向けた取組みの充実を図る。</p>	<p>①保護者や地域の方々、他校に開かれた授業公開を行うとともに、中学生とその保護者への情報発信を学校行事やホームページで行う。</p> <p>②各グループのコンテンツを見直し、タイムリーで魅力的なホームページの作成に取り組む。</p> <p>③学校運営協議会制度に係る課題を整理し評価部会を立ち上げる。</p>	<p>①5教科以上の他校参加型授業公開・研究協議会を実施できたか。</p> <p>②各グループが所管するホームページの内容に創意工夫がみられたか。また、ホームページ内容の更新回数が増加したか。</p> <p>③学校運営協議会制度に係る課題を整理できたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>(1)企画会議の機能を強化するとともに、全教職員への情報共有や経営参画意識を向上する。</p> <p>(2)学力向上進学重点校エントリー校として、基礎・基本の徹底を図り、生徒一人ひとりの能力を伸ばすための授業を展開する。</p> <p>(3)安全で安心な学校環境の整備を図る。</p> <p>(4)計画的・効率的で適正な予算執行に努める。</p> <p>(5)事故不祥事防止の徹底を図り、県民の信頼を確立する。</p>	<p>①企画会議と各グループとの相互のコミュニケーションを図り、自発的な人材の育成をとおして全職員の経営参画意識を高める。</p> <p>②授業の質と量の確保等、喫緊の課題を職員全体で共有し、平成 31 年度入学生に向けて、課題解決の方向性を検討する。</p> <p>③旧校舎除却及び外構工事に伴う校舎内外の環境整備に努める。</p> <p>④県費・私費の計画的、効率的な予算執行に努める。</p> <p>⑤教育公務員としての高い倫理意識と法規法令遵守を徹底し事故の未然防止に全力で取り組む。</p>	<p>①学校教育計画に基づき、各グループが組織の目標を設定し中間及び年間の評価の総括を実施する。</p> <p>②学習の状況の把握を詳細に行い、授業時間の確保と質の向上を図る。</p> <p>③旧校舎除却及び外構工事に伴う諸課題を順次解決する。</p> <p>④日常的な点検・確認を通して、適正かつ効率的な会計処理等の徹底を図る。</p> <p>⑤定期的な日常点検を確実に実行し、職員一人ひとりの事故防止意識の向上に努める。</p>	<p>①企画会議を中心にグループ等の連携を図り、SSH 及び学力向上進学重点校指定に向けて、具体的な方策が行われたか。</p> <p>②喫緊の課題を解決するための組織体制を確立できたか。また授業時間の確保と質の向上に向けた具体的な取組みを進められたか。</p> <p>③各グループ・事務室・業者等が連携を図り、各工事を円滑に進めることができたか。</p> <p>④予算や決算、執行、また業者選定等が適正に行われたか。</p> <p>⑤日常点検により、適切な事務執行を行うことができたか。また入学者選抜など諸業務に係る事故ゼロを達成できたか。</p>